

市民活動をFMラジオで発信！！ 『つなげよう！市民のチカラ！』

○第32回：2017年12月24日（日）

○ゲスト：特定非営利活動法人

津軽広域救急支援機構

松山 貴紀 さん



松山さん

○ 放送内容

今回の放送では 特定非営利活動法人 津軽広域救急支援機構 の 松山 さん をゲストにお招きしました。

法人を立ち上げるにいたった経緯や、現在の主な支援活動についてお話いただきました。

□ 最初は署名活動から

特定非営利活動法人津軽広域救急支援機構は、弘前に高度救命センターが無かった2008年に、「弘前にせっきく大学があるから、そこに救命センターが欲しい」ということで、署名活動を行おうとのきっかけで立ち上げられた組織だそうです。

高度救命センターができた今では、救急に関連していることもしているそうですが、主に「地域に対する保健医療とかでなにか助成できるようなこと、立ち止まっているようなことをみんなの力で盛り上げていこう」という方針で、例えば、夏休みの前だと、子どもが山で怪我をしたときなどに、親御さんや引率者のかたがどういふことをすればいいのかや、地域の老人クラブで、各科の先生の話を聞いてもらうなどの活動をしているとうことでした。

□ 男の介護

今から50年ほど前は、介護者（介護をする人）の90%を女性が占めていたけれども、現在は、三人に一人が男性介護者になっているそうです。

「男性はどっちかっていうとコミュニケーションが下手くそ、集まって『うちのかみさんがこうで…』なんていうことはなかなかもらさない。会社でのコミュニケーションはうまいんでしょけども、地域社会におけるコミュニケーションっていうのはなかなかとれないっていうのも男女差の一つかもしれない。」と、男性介護者の虐待や自殺などが多い現状に対して、なんとかしたいと「男の介護教室」を2月10日に開催することにしたそうです。